

健康教育実習

I. 目的

集団を対象に健康教育を実施できる能力を養う。

II. 目標

1. 集団の健康教育における教育計画を立案し、実施・評価できる。
2. 健康教育を効果的にするための技法（カウンセリング技法、集団教育技法）の知識を活用できる。
3. 対象者のレディネスを把握し、ニーズを充足できるよう考慮した指導計画を作成し実施できる。
4. 健康教育の評価ができる。

III. 実習施設

国立病院機構岡山医療センター

IV. 単位数および時間数

1 単位 45 時間

V. 教育内容

1. 集団指導の企画・運営・評価

VI. 実習目標・行動目標・実習内容

実習目標	行動目標	実習内容
<p>1. 集団の健康教育における教育計画を立案し、実施・評価できる。</p>	<p>1. 集団の健康教育を企画できる。</p> <p>2. 集団の健康教育を運営できる。</p>	<p>1. 集団の健康教育の企画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育計画の基本 2) 対象者のニーズとアセスメント 3) 学習・教育目標の設定 4) 教育内容の設定 5) 組織図 6) スケジュール計画 7) 参加者募集計画 8) 教育方法の選択 9) プログラム案作成 10) 指導内容・計画および指導案作成 11) 物品、教材作成、予算 12) リハーサル計画 13) 当日の運営計画、役割分担の計画 14) 評価計画 <p>2. 集団の健康教育の運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 運営計画と役割分担 2) 当日の運営計画と調整 3) 指導内容の検討、担当者間の調整 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設方針、病棟指導者との調整 (2) 最新情報の確認 4) 広報、参加者募集活動 5) 本番リハーサル 6) 当日運営と臨機応変の対応
<p>2. 健康教育を効果的にするための技法（カウンセリング技法、集団教育技法）の知識を活用できる。</p>	<p>1. 健康教育の技法の知識を活用して指導を実施できる。</p>	<p>1. 健康教育の技法の知識を活用した指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 理論的基盤 成人学習理論、女性中心のケア、家族中心のケア セルフケア理論、エンパワーメント、意思決定支援 保健行動モデル、継続ケア、動機づけ 2) 教育技術の基本 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習者のレディネスのアセスメント (2) 場づくり 3) 相談・教育の技法 <ol style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーション技法 (2) カウンセリング技法 ピアカウンセリング、ファシリテーター役割 (3) 講義・演習・相互作用の運営 (4) 教材・媒体の工夫 4) 集団指導におけるアプローチ
<p>3. 対象者のレディネスを把握し、ニーズを充足できるよう考慮した指導計画を作成し実施できる。</p>	<p>1. 指導計画に基づいて指導を実施できる</p>	<p>1. 指導計画に基づく指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者のニーズ、アセスメント 2) 指導の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 指導案の作成 (2) 教材作成 (3) 評価計画 3) 集団指導の運営

実習目標	行動目標	実習内容
		(1)参加者受付 (2)プログラム運営 (3)安全管理 (4)物品管理 (5)リーダーシップ、メンバーシップ
4. 健康教育の評価ができる。	1. 健康教育の評価ができる。	1. 健康教育の評価 1) 形式評価・結果評価・総括評価 (1) 参加者の評価 (2) 自己評価 (3) 教育評価：指導目標の達成度 (4) 運営評価